

卓球競技 競技上の注意・ルールについて

■あいさつ

試合前・試合後は「相手」と「審判」にあいさつをする。

■カウント版の正しい使用

①選手がいないときはゲーム・スコアカウントともに空白。

②選手が来た→ゲームカウントを0-0に。スコアカウントは空白。(→練習)

③1ゲーム目開始→スコアカウントを0-0に。「ラブオール!」

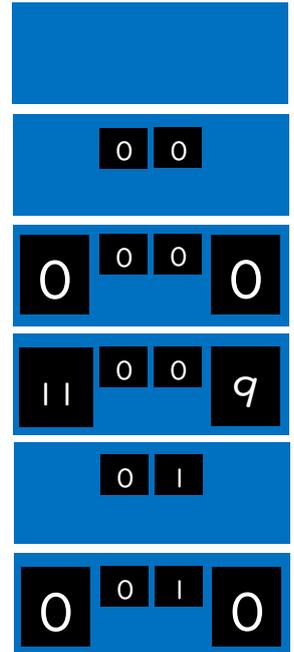
スコアの合計が6の倍数→45度右手前に得点版を引き→2~3秒静止→戻す

④1ゲーム目終了、スコアカウントそのまま(例:11-9)、ゲームカウントそのまま(0-0)

⑤2ゲーム目選手が来た→ゲームカウント1-0に。スコアカウント、空白。

⑥2ゲーム目開始→スコアカウントを0-0に。「ラブオール!」

⑦以降繰り返し。



■タイムマネジメント

練習は2分、ゲーム間・タイムアウトは1分、促進ルールはランニングタイム11分(静岡県高体連ルール)

※スロープレー「イエローカードの対象となるプレー」

- ・意図的に間を長く空けていることを指す(相手が台についているのに5秒以上の間がある)。
- ・選手が明らかに間を取りすぎている場合、審判は「プレー!」と声をかける。ひどい場合は審判長まで。
- ・6点ごとのタオル休止は汗拭きだけ。

■サービス(違反サービスに注意)

・トスは手の平をしっかりと開いて行う。

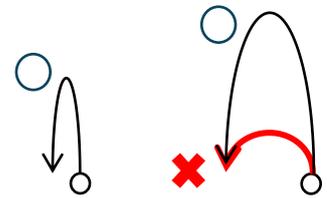
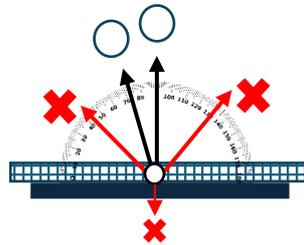
・トスは“ほぼ垂直”に上げる。

・トスの際、ボールを台の下に下げない。

・トスの際、ボールが手を離れてから16cm以上あげなければならない。

・トス~インパクトの間、ボールとサポートを結ぶ三角形の赤色部分に手・肩・頭等を入れてはいけない。

またインパクトが審判から見えること。

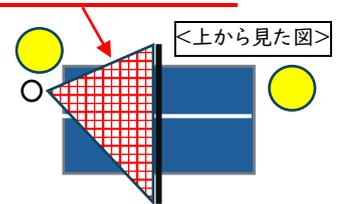


■ウェア・ラケット・ラバーのチェック (不明な場合は審判長まで)

・JTTAやITTFがついているか確認。

・ラバーのはみだし or 欠損が 2mm を越えないように。

・ラバー全面がラケットに接着されていること。一部接着が剥がれてラバーが浮いてないように。



■ネットアセンブリのチェック(サポート・ネットを正しく張る)

サポートを台の奥までしっかりとつけて、ネットの紐を引いて弛まないように張る。



サポートを引っ張ると、横に長くなり、ボール巻いた横入れがやりにくくなり、判定に影響する。